

育苗トレイによるホオズキ地下茎の養成方法

9月30日播種の密植で、4.0mm以上の地下茎本数が多く、定植後の生育が優れる地下茎が多く確保できる

背景・目的

- ホオズキ栽培では、実生由来の地下茎養成を育苗トレイによって根域制限して育苗する管理方法が増えています。
- 今回、優良地下茎の効率的な確保を目的に、育苗トレイを使用した場合の播種時期および栽植密度の条件を検討し、得られる地下茎の形質や、定植後の初期生育を調査しました。

成果の内容

- 4.0mm以上地下茎の定植後の草丈の推移は、9月30日播種が、9月2日播種より伸長が優れ、先端部が中間部より優れます（図1）。
- 1箱あたりの地下茎調整後の太さ別本数では、先端部及び中間部を合わせた4.0mm以上の地下茎は、9月2日播種×疎植で最も多いが、地下茎定植後の生育が優れる9月30日播種では密植が多くなります（表1）。

表1 1箱あたりの地下茎調整後の太さ別本数

試験区	中間節本数(本)			先端節本数(本)			合計本数 (本)
	3.5mm未満	3.5mm以上 4.0mm未満	4.0mm以上	3.5mm未満	3.5mm以上 4.0mm未満	4.0mm以上	
9月2日播種×疎植区	30.3 ± 1.9 ²	30.0 ± 4.5	92.0 ± 18.8	33.0 ± 3.0	8.3 ± 3.5	29.0 ± 5.0	190.0 ± 24.1
9月2日播種×密植区	184.7 ± 9.7	66.7 ± 1.9	31.0 ± 2.6	75.3 ± 3.7	23.0 ± 1.2	17.0 ± 3.6	397.7 ± 19.2
9月30日播種×疎植区	14.3 ± 4.2	18.3 ± 1.3	10.7 ± 2.4	10.0 ± 3.8	14.0 ± 1.5	15.3 ± 1.8	82.7 ± 2.3
9月30日播種×密植区	27.0 ± 3.1	16.7 ± 2.3	16.0 ± 7.0	32.0 ± 2.3	27.0 ± 2.9	29.7 ± 5.7	148.3 ± 16.0

均値±標準誤差(n=3)

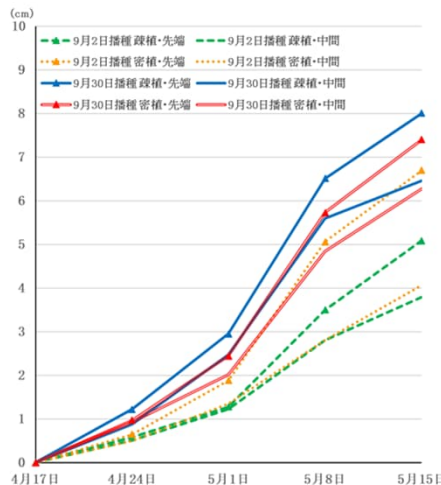
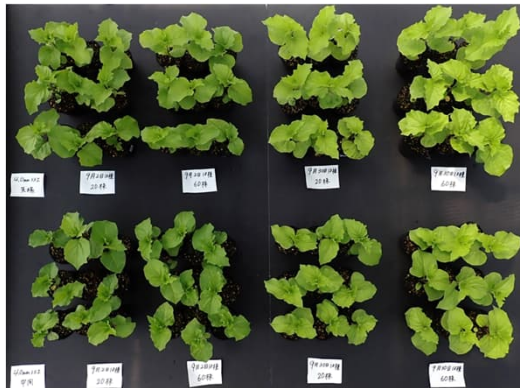


図1 4.0mm以上地下茎定植後の草丈

成果の活用方法(又は期待される効果)

- 優良地下茎を確保する際の基準として利用できます。



定植後5週間目の生育状況(4.0mm以上地下茎)

- 普及対象地域・戸数 南那珂地域のホオズキ生産者 4戸

留意点

- 総合農試(宮崎市)での試験結果です。地域の気象条件に応じた活用の検討が必要です。